

発刊にあたって

同窓会会長 小林 富美雄



錦秋の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、同窓会が発足して2年が経ちましたが、このたび会の目的である「会員相互の親睦、母校の発展、そして在学生への幾分かの力となる」という主旨に従い、今回皆様方の御協力を得まして、ささやかながら小冊子を発刊することになりました。

ふりかえてみますと、昭和41年、鉱山学部鉱山土木科が新設され、その第1期生が生声をあげ、昭和45年、土木工学科と名称を変えるとともに第1期生が卒業をむかえるに到ったのであります。しかし、その間諸先生、諸兄の研究設備の導入、拡充、卒業生の職場開拓……等、草創期の困難な諸問題の解決には多大なご心労、尽力があったことと思います。また多様な価値感の今日、我々学生の中にあつて談論、激論のとどまることを知らない、いわゆる学園紛争の最も激しかった時代、

私達の学んだ建物も、一部封鎖や火災ピンが飛ぶこともありました。そのような状況の中にあつても、講座外に自分達で研究会を企画したり、行事に積極的に参画したものであります。その他、歴史の第1ページを飾るという意気込みで、自分達のアルバムを立案し、編集、作製するという我々仲間達でありました。というも私達1期生には、頼るべき先輩もいない、伝統もない、すべてはこれからであるという強い自覚意識がそうさせたのかもしれません。私達土木工学科の歴史は、以上のようなもろもろの中から出発したのであります。

以来卒業生は今日まで12期生を数えるに到りました。まだまだ振りかえる程の余裕はありませんが、まさに“光陰矢のごとし”の感であります。

今後、この会紙が国内外で御活躍される皆様方の繁栄、発展のために少しでも寄与できれば幸いに思っております。

(1期 秋田県立横手工業高校勤務)

第2回同窓会総会のお知らせ

下記の要領で同窓会総会を開催いたしますので、是非御出席下さいますようお願いいたします。

日 時： 昭和56年11月22日(日) 5:00 p.m. ~

場 所： 秋田駅前「ニュー・タケヤ」

会 費： ￥5,000円(当日会場にてお支払い下さい。)

※なお出席の有無は同封のはがきにて11月1日までお知らせ下さい。

理事会だより

昭和54年11月3日、百名の卒業生（全会員の約1/6）が集まり、本会が発足いたしました。その後、2年の歳月が流れ去り、今年は第2回総会が開かれることになっております。今回も多数の会員の出席があるものと思われま。また今年度の会費支払い状況において、全会員の約半数からの納入がありました。このように会員諸氏の同窓会へ寄せる期待は大きく、会員相互の親睦の場としてまた、秋大土木の新しい伝統を築く場として、さらに発展させる必要があります。

今まで同窓会が行なった事業として、名簿作製、新会員との交流会、および製本機の寄贈があげられます。今後会費を会員に還元するための事業を計画することが課題となっているように思われます。このような課題について、第4回理事会において次のような話し合いがなされました。以下議事録を掲載します。

昭和56年7月9日 於土木工学科会議室
出席者：小林会長、佐藤、小島、折田各副会長、宇佐美、佐々木(卓)、及川、加賀谷、柴田、長谷部、佐々木(保) 各理事

＜議案1＞ 同窓会だよりを作成する。
会員相互の情報交換及び親睦をはかる場として是非実現すべきであるとの意見により、全会一致で可決した。発刊は年1回程度とし、編集委員に柴田、長谷部、加賀谷があたることになった。また内容として、会員の現場、仕事の紹介、会員消息などを主に載せることとし、原稿を公募することになった。

＜議案2＞ 地区同窓会の結成に対する援助
たとえば、東京や大阪近辺に在住する会員により地区同窓会が結成された場合、本会がその運営に対して援助することであるが、主旨に賛同するものの、具体的な援助については保留となった。各地区における会員の積極的な活動が望まれる。

＜議案3＞ ネクタイピンの作製および図案の公募。

いい企画だが、現在のところ財源に無理があり同窓会発足10周年ぐらいを目標に計画することになった。

＜議案4＞ 会員を現場見学に派遣する。
会員の中から希望者を選び、現場（会員が従事している現場）に派遣し、見識を広めてもらうことが目的である。人選、派遣費に問題があり実現の方向で検討を加えることとし、保留となった。

＜議案5＞ 慶弔の規約
次のように可決された。

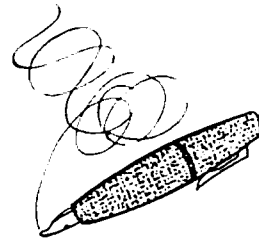
	弔	慶
同窓生	20,000円	
奥師	30,000円	
現職員	10,000円	

慶弔の情報を周囲の会員が事務局へ連絡するよう呼びかけることとなった。

本理事会を総会にかえる。

各理事の意欲は相当なものと思受けられますが、何せ財源に限界があり、まずは同窓会だよりを足場に、会員に対する還元をはかることになりました。今後の同窓会運営の充実をはかるため、会員諸氏の意見を事務局までどしどしお寄せ下さい。

（事務局長 加賀谷 記）



東京支部の活動について

佐 瀬 攻



土木工学科同窓会の理事会の方から、今度「同窓会だより」を発刊するので、「東京支部活動について」原稿を書いてほしいという依頼があり、やむなく引受けた次第である。

実際のところ、「東京支部の活動について」書けといわれてもそれほど活動しているわけでもなく、この春で12期の卒業生が出たので、東京周辺に住んでいる同窓生に声をかけて一度集まろうかなどと話をしている段階である。その手始めとして3期卒の藤井君に席を設けてもらい、1期から5期あたりまでの東京近辺に住んでいる人に声をかけ、神田に12名程集まったのを覚えている。昨年の11月末頃と記憶しているが、その席上今度のもっと下の期卒まで声をかけ、年に1度か2度集まろうなどと皆で話合ったものである。各期別では少人数で年2〜3回集まっているところもあるようだが、同期の仲間が少なく、なかなか出来ない場合も多いようだ。確かに少人数では連絡をとり合うのも簡単だし、特別場所を設定しなくても集まるのは容易であるが、人数が多くなると連絡するのも大変になるので、各期毎に連絡係でも決めておいて、連絡をとるようにすれば何とか会を催すことができるのではと思っている。

これからますます働き盛りになる我々にとって、同じ土木でも色々な分野にわたって従事している仕事、研究、それぞれの経験等の情報交換をすることは非常に有意義なことであるので、是非各地区においてもそのような会（支部）作りを進めて行くべきだと思う。

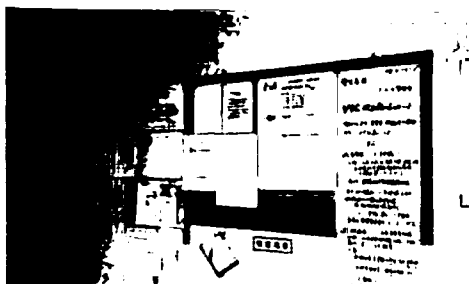
仕事柄、現場が変わったり転動したりでいろいろと難しい面もあると思うが、とり合えず東京支部（関東支部）を作り、徐々に活動していきたいと考えているので、同窓諸君の御協力をお願いする次第である。

(1期卒、日本港湾コンサルタント勤務)

土木工学科同窓生の勤務地状況 (昭和56年9月現在)

地方名	都道府名	卒業期(卒業年次)												計	地方計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
北海道	北海道	1	2	1	2	3	2					1		12	12	
東北	青森			2	2				2			2		8	198	
	岩手			1	5	3	1	3	4	4	6	5	3	35		
	秋田	2	6	7	9	10	5	7	8	11	10	6	2	93		
	山形	2		2	1	1			1		1	2	4	14		
	宮城	2	4	2	5	4	1	1	4	4	2	5	3	34		
関東	福島		1	2	3					2	5		1	14	113	
	茨城			2									2	2		
	栃木											1		1		
	群馬			1						2		1		4		
	埼玉	3	1	1			3	2	2	1	4	1	15	32		
中部	千葉	2	5	4	2	3	5	2	1	2	1	2	3	32	45	
	東京	3	6	5	1	2	6	6	1	3	3	3	3	42		
	神奈川	3	1	3	3		3		1	2	1			17		
近畿	山梨					1							2	3	24	
	長野										1			1		
	新潟	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	4	18		
	富山	1	2			1				2			1	7		
	石川									1				1		
	福井	1								1				2		
	岐阜															
中国	静岡	2	1					1	1					5	9	
	愛知	3		1	1	1	1					1		8		
	三重	1												1		
	滋賀											1	1	1		
四国	京都					1								1	24	
	大阪	2		1	3			1	1	1				9		
	兵庫	1	2	1	1	1	1	1	1				1	10		
	奈良															
九州	和歌山					1		1					2	9		
	鳥取								1				1			
	島根			1									1			
海外	岡山				1					2			3	4		
	広島						1		1				2			
	山口	1					1						2			
	徳島	1											1			
九州	香川														8	
	愛媛	1				1		1					3			
	高知															
	福岡			2	1					1				4		
	佐賀															
九州	長崎														8	
	熊本										1		1			
	大分								1				1			
	宮崎															
九州	鹿児島														2	
	沖縄					1		1					2			
	海外		2				1	1				1	5			
九州	大学院											1	2	3	1	
	不明	1								1	1	3	2	8		
	物故者						1							1		
合計		34	36	35	39	37	39	29	30	40	41	35	34	30		

校舎寸景



編集後記

各地で御活躍の同窓会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。

このたび同窓会活動の一環として「同窓会だより(仮称)」を発刊することになりました。この小冊子を会員相互の情報交換の場として活用して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。つきましては、この小冊子の名称を募集いたします。また次号からは、「現場便り」、「会員便り」、「会員消息」等を掲載する予定です。ので、どんどん原稿(約1,000字程度)、写真(1~2枚)をお寄せ下さい。また内容等に御希望がございましたら御意見をいただき、充実したものに行きたいと思っております。

土木工学科10周年記念で同窓会を充足させてから早いもので2年が経ち、今春卒業の12期生までの会員数は430名になっております。もうすぐ15周年がまいります。今後の記念事業としてネクタイピンの作成を考えておりますので図案を募集いたします。とどしと応募下さいますよう。また記念事業に対する御意見、御希望もお寄せ下さい。尚、応募等のあて先は下記まで。

〒010 秋田市手形学園町1-1

秋田大学鉱山学部土木工学科同窓会事務局

(長谷部 記)

発行所 秋田市手形学園町1-1

秋田大学鉱山学部土木工学科同窓会

TEL 0188(33)5261

振替 秋田 4736

発行人 小林 富美雄

編集委員 加賀谷 誠(4期)、柴田 恒夫(5期)、長谷部 薫(7期)

印刷所 秋田活版印刷株式会社

